

บทสนทนากลุ่มตัวอย่างชาวญี่ปุ่น

ตัวอย่าง JC1 บทสนทนาระหว่างผู้ชายสองคนที่เป็นเพื่อนสนิทกัน สนทนาเรื่องการหากิจกรรมที่จะจัดในงานมหาวิทยาลัย

- 1A: あのう、今回、学校祭ってことで、
2A: それで先生にゼミで何か1つ出して欲しいという風に頼まれて、ぼくが考えたところ。
3A: ちょっと大名行列でもやってみようかと思うんですけども。
4B: え。
5A: そこらへんどう思いますか？
6B: 大名行列やるっていったら、かなりの人数がいるんじゃないのか？
7B: それはどうするの？
8A: そうですね。
9A: まあ、大名行列っていうても多分大名と、槍と刀、それと馬と、まあ、最低この三つがあれば、・・・
10A: あとね、その家来またいなのがいれば、十分その格好みたいなものにはなと思うんですけど。
11B: 馬なんてどっから借りてくるの？
12B: 馬なんてそこらへんにいないよ。
13A: もちろんあれですよ。
14A: 人がかなりかわるんですよ。
15A: 顔の部分、背中の部分、足の部分と、3人くらいで形づくる予定です。
16B: それ馬の人かなり疲れるよ。
17B: 絶対倒れるよ。
18A: うん。それは練習でなんとかなるでしょう。
19B: いや、でもあと文化祭まで3日だよ。
20B: どうするの？
21A: 3日ですか？
22A: 3日もあれば十分ですよ。逆に。
23A: えーと、そう。3日もあれば十分ですよ。馬ですもん。
24A: けっこうがたいいい人を使えば大丈夫です。
25B: まあ、馬のことはわかったけど、
26B: 馬に3人使うってことはものすごく人数要るんじゃないの？今度は。
22A: うん。
28A: でもゼミの人数からいけば、20人くらい揃うんで。
29A: まあ、馬も、2頭ぐらいいけるんじゃないですかね。
30B: いや、俺の大名行列のイメージとしては、永遠にずっと続いていくようなイメージがあるんですよ。
31B: このゼミの人数だと、なんかその豪華さが出ないと思うんだよ。
32A: あー。豪華さね。
33A: それはやっぱり、そうなる。。、

- 34A: えー、その分の家来は、協力をあおって人数を増やすこともできると思うんですけど。
- 35B: 協力をあおるっていつでもね。
- 36B: そんな簡単に協力者がもてますか？
- 37A: それは、僕らの人脈にかかっています。
- 38B: 人脈って言われてもね。
- 39B: なんかそれ不明確なんだけど。
- 40B: とりあえず誰が確保できるか。
- 41B: 何人確保できるかわかる？
- 42A: そこは考えてないです。
- 43B: それだとだめじゃないですか。
- 44B: それだと、もし本番に人数集まられなかったらどうするんですか？
- 45A: それはやっぱりアポイントを取れば。
- 46B: いや、今僕が言っているのは、アポイントを取れる人が何人いるかという話ですよ。
- 47A: それはまあ、何とかなるとして進めていきましょう。
- 48A: 三日という限られた中で、やるしかないんですよ。
- 49A: そしたら逆に、他に提案とかありますか？
- 50B: (笑い) 諦められないんだな。
- 51B: じゃあ、やるだけやってみよう。

ตัวอย่าง JC 2 บทสนทนาระหว่างผู้ขายสองคนที่เป็นเพื่อนสนิทกันสนทนาเรื่องการหาร้าน

สังสรรค์

- 1A: ええと、サークルの飲み会やね。
- 2B: 飲み会？
- 3A: えーとね、具体的に。
- 4A: うん、まあ、僕の提案としてね、まあ、一番大きいものが、安けりゃいいかな。
- 5B: うん。
- 6A: 俺学生やし。
- 7B: うん。
- 8A: どうだい？
- 9B: やっぱり、なん、もうちょっとうる覚えのある、少し食べ物もおいしいよな感じの。
- 10A: それまでも、まあ、どうしてなんかというと俺は金はないね。
- 11A: 実際問題。実際問題。
- 12A: 金がなくても高いところに行きたいと言っても、夢の話であって、
- 13A: 金さえあれば、高いところへ行くのもいいけど。
- 14A: まあ、今回はしょうがないよ。
- 15A: まあ、一人 500 円の方探そうよ。
- 16B: あればいいけど、
- 17A: ないの？
- 18B: おれはそんな高いところに行かなくてもいいけど。
- 19B: 3 千 5 百円ぐらい払って、ちょっとおいしいものたべー、おいしいお酒をのみー、楽しいお話を、

- 20B: どう? いいんじゃないですか?
- 21A: 高いところに行きたい気持ちあるよ、俺も。
- 22A: だけど、やまちゃんやけど、やまやまだけど。あのう、行きたいけど、そうさせない理由があるんだよね。
- 23A: それが僕の財布の中に今 3 千円はないということね。
- 24A: なるほど。
- 25B: 僕の財布の中に 3 千円があれば、君の案も考慮するけれど。
- 26A: 僕の財布に今 1,500 円しかないから。
- 27A: まあ、せっかく飲み会に行く。みんなで行こうと言っているんだから、まあ、おれはもうみんなで行けないと意味がないということで、底辺のやつにあわせてもらうということで聞いてみるところなんです、
- 28A: なるほど。
- 29B: ぼくはね、幹事なんだ。幹事というのはお金を集めるの。
- 30B: はいはいはい。
- 31A: だから、3,500 円のところをひとつ 3,800 円とに、
- 32B: はいはいはい。
- 33A: そうすると 300 円余るわけだよ、会計は
- 34B: はい、オッケーオッケー。
- 35A: つまり、一人 300 円 20 人じゃ 6,000 千円も。
- 36B: なるほどね。
- 37A: 実は一人で 500 円でいい。(笑い)
- 38A: そうすると、単価安いよね。
- 39B: やすいし、おいしい料理も食べれるから。
- 40B: すごくこれはいいんじゃないか。
- 41B: 一挙両得だ。一石二鳥みたいな。
- 42B: どうか。
- 43A: いいんじゃないかな。

ตัวอย่าง JC3 บทสนทนาระหว่างผู้ชายสองคนที่^๑เป็นเพื่อนสนิทกันสนทนาเรื่องการหาของที่ระลึก

ให้อาจารย์ที่จะเกษียณ

- 1A: 先生に、なんか、買わなきゃいけない。お餞別としてさあ。
- 2B: うん、どんなものでもいいかな。
- 3B: 先生のやっぱ思い出に残るものじゃないと。
- 4A: そうだね。
- 5A: なんか予定ある?
- 6B: なんか、金をかけるとあるなら、そうだな、なんか、写真立てとかにして。
- 7A: うん。
- 8B: 先生と一緒に写真撮ったりして、プレゼントするっていうのもなんか、いいんじゃない?
- 9B: 思い出には残るんじゃないかな。
- 10A: そうだね。
- 11A: え、これから、なんか役に立ちそうなものとか、贈るの。
- 12B: あー。たとえば、どんな?
- 13A: いや、うーん、たとえば? ネクタイとか。
- 14B: ネクタイか? あー。

- 15A: でも、恥ずかしいよね、なんか。でも、うれしいだろうね。
16B: うん、ネクタイか。
17B: ネクタイとなるとさあ、なんていうかさ、ものすごい、
18B: なんか、写真立てとかだとさ、普通になんか、広範囲の人に受け入れてもら
えるってかんじでしょ？
19A: そうだね。
20B: ネクタイはさ、なんていうか、そんな趣味とか、
21A: 趣味とかね、うん。
22B: いろいろね。色とか、柄とかあるしね。
23B: 先生の好きな色とかしらないの？
24B: いやー。でも、あの先生派手好きっぽいよね。
25A: (笑い) あ、そっか。
26A: じゃあ、あるんじゃないの？探せば。
27B: そうかな。
28B: ネクタイか。
29B: けどね。ネクタイはほら、うん、ネクタイね。
30B: 予算は？
31A: 予算か。
32A: みんなで出し合えば、そんなに・・
33B: そっか。そうだね。それだったら洋服なんて安いのがあったら10着くらい買
えちゃうよ。
34A: よくない？それで。
35B: まあ、そうだけど、
36A: やっぱり思いが大切でしょ？
37B: そうだね。
38B: ネクタイはほら、何って言うか。ちょっと、色あわせ感じが難しいよね。
39A: どうしようか。何贈る？
40B: うん、そうだね。
41B: まあ、写真立てはすごいベストな。
42B: 俺はプレゼントだと思うけどな。
43A: そっか。やっぱり。
44A: じゃあ、これ、クラスに持って行って決を取る？
45B: 決、取るの？
46B: まあ、一つだけじゃなきやいけないのかな。
47A: あー、そうだね。
48A: クラスでこれ意見が割れたら、二つあげてもいいよね。
49B: 二つともそんなに聞く気がないから。
50A: (笑い) もう、いいか。
51B: 両方ともいいんじゃないの？
52B: 両方ともにするか。二つ贈りますか。
53A: 二つでいいんじゃないの？

ตัวอย่าง JC 4 บทสนทนาระหว่างผู้หญิงสองคนที่เป็นเพื่อนสนิทกัน สนทนาเรื่องการหากิจกรรมที่

จะจัดในงานมหาวิทยาลัย

- 1 A: まこっさん、おはよう！
- 2 B: おはよう！なんでおはようだって？
- 3 A: 今度文化祭だね、
- 4 B: そうだね、文化祭だね。
- 5 B: どうする？
- 6 A: 何がいいかな。
- 7 B: ともよ、何かある？
- 8 A: これはもう同人誌を売るしかないよ。
- 9 B: え？何、何？
- 10B: これはいやなんだけど
- 11A: え？なんで？
- 12B: だって、同人誌とか、あたしはわからない。
- 13A: 燃えるよ。それ
- 14B: え？それは何？
- 15B: 詳しく説明してよ
- 16A: それは、それはこう、自分の好きなマンガのキャラクターを好きなようにくっ付けるんだよ。
- 17B: 何で？
- 18B: 意味わかんないよ。
- 19B: もっと詳しく説明してよ。
- 20A: ラブラブする話しだけど、
- 21B: ラブラブ、何？
- 22A: ラブラブって、ラブラブなんで、愛情（笑い）
- 23B: でも、それはさ、こう、一部の人しかさ、来ないよね。マニアとかさあ。
- 24A: やっぱ、そうかなあ。
- 25B: やめた方がいいよ。
- 26A: え？
- 27B: もっとみんながわかるものない？
- 28A: みんながわかるやつ？
- 29B: そう、そう、そう。
- 30A: じゃあ、お化け屋敷？
- 31B: そうそうそう、お化け屋敷とか、
- 32B: お化け屋敷はみんな大好きだよ、
- 33A: だよな。
- 34B: あたしも大好きだよ。
- 35B: あたしはね、逆にお化けはね、驚かす、あたし。
- 36A: そりゃ、ちょっと（笑い）
- 37B: なんで？
- 38A: 怖い。
- 39A: お化け壊れるよ。
- 40B: やっぱりだめだよな、訴えられるよね。
- 41B: じゃあ、却下。
- 42B: わたしはね、劇がいい。

- 43A: ああ、そう。
44B: 劇なんか、劇とか良くない？
45A: 何の劇？
46B: え、恋愛。恋愛がいいな。
47A: 劇なら、なんか、シンデレラの、なんかシンデレラっぽいものとか。
48B: えー、シンデレラじゃなくて、
49A: じゃなくて。
50A: なんか、あのう。
51B: あれ、なんかな。なんだっけ。
52B: 美女と野獣がいい。
53A: 美女と野獣かー？（笑い）
54B: 美女は女なんだけど、ダンディな人。
55A: あ、あいうのは必要ですね。
56B: 後、なんかある？
57A: 後、文化祭と言ったら、食べ物。
58B: 食べ物？
59A: うん。
60B: 何がいい？食べ物。
61A: おにぎりとかは？
62B: おにぎりつまらない。
63A: え？なんで？
64B: 何回もたべるじゃん。
65A: じゃあ、やきそば？
66B: そうそう、やきそば。
67B: でも、やきそばもいいけど。
68B: やっぱり、あれ、イカ、イカなんかだっけ。
69A: イカ焼き？
70B: そうそう、イカ焼き。
71B: あたしはイカ焼きがいい。
72B: わたあめもいい。
73A: わたあめ？
74B: うん、なんか、わたあめは子ども好きじゃない？
75A: え、いいじゃん。
76A: みんな欲しがるよ。
77B: なんで？
78A: だって、わたあめって、キャラクターが書いてあるから。
79B: やだ！！またキャラクター、キャラクターって同人誌と一緒にじゃん。
80A: 同人誌じゃないよ。
81B: ともよの好みわかんない。
82B: そういう方面わからない。
83B: 全部そういうのだよね。
84A: ふーん。それだけじゃないけどね。
85B: もう一人で考えて。
86B: 知らない。
87B: ついていけない。
88A: え？終わり？

ตัวอย่าง JC5 บทสนทนาระหว่างผู้หญิงสองคนที่เป็นเพื่อนสนิทกันสนทนาเรื่องการหาร้านสังสรรค์

- 1A: ええと、どこかの Pasta 屋を借り切って、どう？
 2B: 居酒屋の方が絶対いいと思うんだけど。
 3A: 居酒屋よりね、なんか Pasta 系のところなんかはね。食べ放題なんだよ。あ
 あいうところは 2000 円くらいで。
 4B: でも、私は Pasta 好きじゃないし。(笑い)
 5A: あ、好き嫌いねえ。
 6B: 好き嫌いがあるから。
 7B: やっぱり居酒屋でつまみを何個か取った方が絶対いいよ。
 8B: 盛り上がると思うんだけど。
 9A: 居酒屋、居酒屋ってさ、でもさあ、なんか居酒屋はつまみは高いんだよね。
 10B: でも Pasta でも食べ放題とか行ったら、かかる費用は一緒だし、
 11B: 居酒屋は深夜までやってるから、最後までみんなで遊べるっていういいところもあると思うんだ。
 12A: そうだね。
 13A: 居酒屋、居酒屋か。
 14A: でもカラオケー
 15B: カラオケかー。
 16B: 居酒屋でもたまにカラオケできる所とかある。
 17A: あるの。
 18B: ある、ある。
 19B: Pasta 屋はねえ、なんか、おしゃれな感じで、ワインとか、飲めないね。焼
 酎とかも。
 20B: 居酒屋はサークルで飲める。
 21B: 盛り上がると思うよ。
 22A: そうかな。
 23A: Pasta は 2, 3 人、日本酒の方が安い。
 24B: ビールとかも安いと思うし、
 25B: 騒いでも怒られないしね。
 26B: Pasta 屋は怒られる。
 27A: そうだね。
 28A: 居酒屋うるさくてもみんなうるさいから大丈夫だよ。
 29A: でも、食べ物は食べ放題がいい。
 30B: 食べ放題はいいね。
 31B: でも、居酒屋かなー。
 32A: じゃあ、居酒屋で、みんなで盛り上がりよう。

ตัวอย่าง JC6 บทสนทนาระหว่างผู้หญิงสองคนที่เป็นเพื่อนสนิทกัน สนทนาเรื่องการหาของที่
 ระลึกให้อาจารย์ที่จะเกษียณ

- 1A: 今度、伊藤先生が退職するんだけど。
 2B: うん、そう言ってたね。
 3A: そうそう。
 4A: それで、餞別は何にする決めたんだけど。
 5A: 何を買えばいいと思う？

- 6B: 何がいいかな？
7B: 私は思いつかない、ちえぼんは？
8A: それがさあ、先生が伊藤先生だからさあ、困るんだよね。
9B: そうだね。伊藤先生、困るね。
10B: 男だから、趣味とかわかんないもんね。
11A: そうそう。しかも、伊藤先生というのがね。
12B: そうだよな。
13B: 年もあるし、
14B: 何か全然年代も合わないしね、
15B: 何がいいかなあ。
16A: なんか、実は聖書とか喜びそうだけど。
17B: 聖書？
18B: 聖書なんかたくさん持ってるから、いらないよ。絶対いらないと思う。
19A: え？
20B: 他に何かないの？
21B: 何かいい案は？
22A: うーん。なんか（笑い）
23A: でも、ゆうちゃんは伊藤先生に習ってたから、ちょっとわかるんじゃない？
24B: え、でも、私はあんまりわかんない。
25B: 何がいいかなー。
26B: 伊藤先生。うーん、男の人だからね、
27B: ちえぼん弟いるからわかるじゃん。
28A: ええ。でも、伊藤先生みたいじゃないし。
29B: うーん。
30A: やっぱ、食べ物がいいかな。
31B: た、例えば？
32A: 例えば、例えば、おもちとか。
33B: おもち？
34B: おもちなんか、正月にくさるほど食べるじゃない？いらないよ。おもちなんて。
35A: ええ、でもさ、この前さ、トルコ風アイスもおいしかったよね
36B: でも、とけちゃうじゃん。もっていけないよ。
37A: でもさ、くるっと、さかさにしても落ちないし面白いよ。
38B: でも、冷凍しておくのが大変だよ。
39A: そうだね。
40B: とけるから、アイスはだめ。
41A: え？じゃ、うーん
42B: なにがいいかな。
43A: なにがいいかな。
44B: 自分が欲しいもの言ってみれば？
45A: え？自分が欲しいもの。
46B: うん、自分が欲しいもの。
47A: ゆうちゃんは何が欲しい？
48B: あたし、あたしは食べ物だけど、たべものはくさったりしそうだからだめだね。
49A: あー、そうだね。
50B: 早く食べないといけないし。
51A: じゃ、お花とかは？

- 52B: お花？
- 53B: だって、もしどっか引越しするんだったらさ、お花とかさ、すぐかれちゃうしさ、やっぱどうせならずっと残るものが良くない？
- 54B: お祝いだし。
- 55A: ええ。
- 56A: じゃあ、ドライフラワーは？
- 57B: ドライフラワー？
- 58B: だめだよ。
- 59B: だって、あれは枯れたものだから、良くないよ。
- 60A: お餞別だから？
- 61B: うん、お餞別だもん。
- 62B: もっといいものないの？なんか。
- 63A: お金は無理だよな。
- 64B: お金？
- 65B: お金は絶対無理だよな。
- 66B: それだと本当のお餞別になっちゃうからね。
- 67A: そうだよな。
- 68B: なんかプレゼントじゃないと。
- 69A: この前さ、卓球してた時にずっと見てから、もしかして卓球したかったりして。
- 70B: 先生は卓球するかな？
- 71B: だって、けっこう年をめしていっちゃるから。
- 72B: お疲れになるんじゃない？
- 73A: しかも、卓球の台も要るじゃん。
- 74B: そんなお金ないでしょう？
- 75A: そうだね。
- 76B: そうなんだ。卓球見てたんだ。
- 77A: みてたじゃん。プレーディの時。
- 78B: あ、プレーディーね、見てた、見てた。
- 79B: 何がいいかな。
- 80B: 来月退職だから、早めに買ってても大丈夫なものがいいよね。
- 81A: じゃあ、東京に戻って来るための切符をあげるとか？
- 82B: 切符？
- 83B: 値段わかるんじゃない。
- 84B: 先生はもう早くから割引のやつとか買ってそうじゃん。
- 85A: あ、そうか。そうだよね、
- 86A: じゃあ、また次の授業が終わった後に来るから、今から授業あるから、もう行くね。
- 87B: うん、私も。じゃね。
- 88A: じゃね。
- 89B: バイバイ。

ตัวอย่าง JC 7 บทสนทนาระหว่างผู้ชายสองคนที่เป็นเพื่อนไม่สนิทกัน สนทนาเรื่องการหากิจกรรมที่จะจัดในงานมหาวิทยาลัย

- 1A: えーと、おまつりというのは、お神輿だと思います。
- 2B: 神輿？

- 3B: いや、神輿は確かに祭りの代表的なものだけど、
 4B: まず、それ 神輿はどこから持ってくるの？
 5A: それは、借りる。
 6B: 借りる当てがあるのっていうかは多分神輿ってそもそも地域の氏神のまつ
 っているあれだから、多分そんな簡単に貸してくれないと思うんだ。
 7A: あー。
 8B: だから、俺は祭りだから、うーん、なんだろう、出し物をするとなれば、綿
 9A: 菓子。
 10B: あー、店を。
 11A: うん、出し物、もう店を出す。
 12B: でも、あれはけっこうショバ代とか、様々問題がからんできて難しいと思
 うんだ。
 13B: うん、あー、まあ、確かにそうだけど、
 14B: でも、それはその祭りを主催する人に向けあってみればいいし、そういう神
 輿だと、
 15B: まず、どこで、祭りの会場と言っても、神輿をかつくりだけのスペースか、
 あるのかという問題もあるし、
 16A: だから、そこは綿菓子の出店をやったほうがいいと思う。
 17B: 綿菓子を作るのには技術が必要だし、
 18A: でも、それは練習すれば、どうにかなる問題だから。
 19B: でもね。店をやるにしても、なんで綿菓子が出てきたのかと？
 20B: あー、そうか。いや、綿菓子って、あー、まあ、確かに、
 21A: うん、綿菓子、なんで綿菓子か、まあ、絶対・・・の原価が安くてすむ。
 22B: あー。
 23A: あと、値段もたこやきなんかと比べれば、低く抑えられるからたくさんの人
 に買ってもらえるというのがある。
 24A: うん、なるほど。
 25A: まあ、場所とかがちゃんと手配にできるんだったら、店を出すというのも、
 うん、でも、手続きの仕方がよくわからないんだよ。
 26B: それって出し物っていうのか。
 27A: あー、うん、出し物、出し物か、
 28A: うん、うーん、それもまた場合によるのか、出し物の。
 29B: なるほど。
 30A: 出し物、何をさしているのかというのをちょっと、はっきりさせないと、
 ()かな。
 31B: 先生にもう一度聞いてみないと。
 32A: 場所借りられるのか、それとも発表する形式なのか、そういう問題があるか
 な。
 33B: それじゃあ、何はともあれ () 先生にまた聞いてみないと。
 34A: そうだね。

ตัวอย่าง JC8 บทสนทนาระหว่างผู้ขายสองคนที่เป็นเพื่อนไม่สนิทกันสนทนาเรื่องการหาร้าน

สังสรรค์

- 1A: えっと、あそこのお店やけど。
 2B: うん。

- 3A: なんか。2周年記念だって、この日、4千円のコースが、2,500円で、飲み放題、7品というお得なコースになるんだけど、
- 4A: どうかな？
- 5B: え、でも、7品やろ？
- 6A: うん。
- 7B: え、少ないよ。
- 8B: 2,500円で7品やろ？少ない。
- 9B: そんな。行きたくないそんなとこ。
- 10A: え？
- 11A: 2,500円で飲み放題で7品。全然少くないし。
- 12B: でも、おれ一、あんまり飲み方じゃないから。どっちかというと食べる方に重視するタイプだから。
- 13B: いや、普通は4千円のところやから、
- 14A: それに飲み放題つきで、7品っていたらもう充実してて、たくさんあるから。
- 15A: え、料理とかってどういう感じの店なん？
- 16B: どんなん出てくるん？
- 17B: いやいや、まあ、4千円コースのやったから、普通にお刺身出てくるし、サラダも大盛りでたぶん出てくるし、あとデザートもあって、
- 18A: うん。
- 19B: ふつうにいい感じやと思うけど。
- 20A: (笑い) そんな豪華なのに、なんで2,500円なんだ？
- 21B: なんかあやしくないか、それ。
- 22B: あやしすぎる。
- 23B: だから、2周年記念で、そのクーポンがあって、それで、ちょっとどうかなと思って、よくは知らんけど。
- 24A: あー。2,500円かあ。中途半端な値段。
- 25B: え？
- 26A: 2,000円だったら行くけど。
- 27B: なんで、なんで？なんで2,000円？
- 28A: 俺、中途半端とかきらいだから。
- 29B: そんなっ。2,000円だとちょっと安すぎるから。で、中途半端なその500円とかがいやなんでしょ？
- 30A: うん。
- 31B: それやったら、交渉してみて、3千円にしてから、もっといいその3千円
- 32A: で、
- 33B: うん。
- 34A: たぶん3千円やったらもっといい、その質がアップしたの来るから。
- 35A: それはもう交渉してみるから、それでどう？
- 36B: (笑い) 3千円で品はもう増えないわけ？
- 37A: え？
- 38B: 品はもう増えないん？
- 39A: 品も、増やそうと思えば増えると思う。
- 40B: ふーん。だから質を上げるんじゃなくて品を増やす。
- 41A: ふーん。それか、品はそのままで、品を上げる。
- 42B: うん、うん、でも、俺、俺と行きたいんなら、
- 43B: 行きたくないんよ、俺。
- 44A: なんじゃそりや。

ตัวอย่าง JC9 บทสนทนาระหว่างผู้ชายสองคนที่เป็นเพื่อนไม่สนิทกัน สนทนาเรื่องการหาของที่ระลึกให้อาจารย์ที่จะเกษียณ

- 1A: はい。何買おうか。
 2B: 何買おうかねー。
 3A: 俺はお金ないから、花と色紙で。
 4B: え？
 5B: 花と色紙？
 6B: だってなんか安もんじゃん。なんか、もっとなんかさー。
 7A: え？お金あんの？だって。
 8B: うん。お金あるよ。
 9A: お金あんだー。
 10A: じゃ、お金だしてくれる？
 11B: え？だってそれはさー。だってさー。クラスでじゃん。クラス30人じゃん。うちのクラス。30人で一人300円ぐらい出せば。
 12A: え、なんか、来月退職するひと一人じゃないじゃん？
 13B: 一人じゃないの？
 14A: 一人じゃないでしょー。
 15B: あっそー。
 16A: だからだから、5人だから、5人分でしょー。
 17B: 5人もいるの？
 18A: 色紙も大変だねー。
 19B: そうだねー。
 20A: じゃ、ちゅーや何がいい？
 21B: 時計？
 22A: 5人？ありえない？
 23A: だってさー、一人いくらか計算してみてよ。
 24A: しょぼいさー、100円の時計とかもらってもうれしくないでしょ？
 25B: まーねー。一万ぐらいのね。
 26A: だって彼氏にプレゼントするわけじゃないでしょ。
 27B: やっぱ時計はだめか。
 28B: 他の。他のだよね。
 29B: うん、じゃー、色紙と花はだめ。
 30A: なんだったら、なんか記念になるもんがいいじゃん？
 31B: そうだよな。記念になるものもいいね。
 32A: じゃ、記念になるものって何がいい？
 33B: なんかさー、じゃー記念品。記念像とか？
 34A: 記念記念、わかったわかった。
 35A: じゃ、先生の記念だから、先生の顔（ ）とかどう？
 36B: 生徒の親指のねー、こう指紋をとるじゃない？
 37B: それもらってもー、うれしかなー。
 38A: うれしくないか？
 39B: 親指もらってもー、
 40A: 生徒の全員のこう写真一覧とか・・・
 41B: 写真ねーいいねー。
 42B: あ、じゃーさー、なんかさー、写真あれでしょなんか、卒業アルバムみたいにするのか？

- 43A: そうそう、卒業アルバムみたいにするの。
44B: でもさ、時間まにあわないからさ。
45A: いや、まだ大丈夫だって、来月でしょ？
46B: うん。
47A: 一ヶ月あるじゃん。
48B: 一ヶ月あるね。じゃやってくれる？全部？
49A: えー？全部はおかしーでしょ？おかしーよ、絶対。
50B: 俺らが頼まれたのは、餞別買うようにいわれたんだよ。
51A: これ、買わなきゃいけないの？
52B: いや。
53A: もういいんじゃない。お中元みたいにタオルみたいで。
54B: タオル？
55B: タオルはちょっと味気ないよね？
56A: 味気ない？
57A: じゃ、みんなで、タオルに顔、みんなで入れるとか。
58B: 顔入れるのタオルに？
59B: きもちわるっ。きもちわるっ。
60A: 刺繍で。
61B: 刺繍？
62B: そのほうが間に合わない。一ヶ月じゃ間に合わないよ、人の顔は。
63B: うん、なんかおもしろいのがいいよね。
64A: おもしろいのがいいよね。
65B: おもしろくない方がいい？
66A: おもしろくない方がいいの？
67B: まじめにいこっか？
68A: あの先生に？
69A: お前の考えはどうなんだ？
70B: あの先生ひょうきんじゃん。
71A: 社会の先生じゃん？来月？
72B: うん。そうだね。社会の先生はあれじゃない？地球儀とかどう？
73A: 地球儀ねー。地球儀
74A: じゃ。地球儀に他の顔に先生の顔を入れるのはどう？
75B: いや、気持ち悪いよね？それは。
76A: だめか。
77B: それはいけないと思う。いけないね。あんまり。
78B: 何がいいかなー。
79A: なんかねー・あー、俺じゃーえーそろそろ決めようよー。なんかねー。
80B: うん。そうだね。
81B: わかった。いいよ。タオルと花束で。
82A: タオルと花束だめだね。
83B: 花と色紙でいいじゃん。
84A: あーそうだねー。
85B: 花と色紙でいいー。
86A: はい、決定。

ตัวอย่าง JC 10 บทสนทนาระหว่างผู้หญิงสองคนที่เป็นเพื่อนไม่สนิทกัน สนทนาเรื่องการหา
กิจกรรมที่จะจัดในงานมหาวิทยาลัย

- 1A: やっぱり、おばけ屋敷だ。
 2A: 私は文化祭におばけ屋敷が出したい。
 3B: 文化祭？
 4B: 私はやっぱり文化祭はハロウィーンのほうがいいと思う。
 5A: ハロウィーン？
 6B: ハロウィーンのほうが（ ）だし、31日に入ってるし、
 7A: あ、なるほど。
 8B: かぼちゃ料理もいっぱい出せるし、
 9A: あー。そうか。
 10A: じゃ、ハロウィーンでは何の役をする？
 11B: え、役っといわれてもそんな、別におばけ屋敷風にしようというわけじゃないし、
 12B: うん、ただそういう衣装着たらいいと思うよ。
 13A: ハロウィーンとおばけ屋敷を合わせた文化祭？
 14B: あー、でも、おばけ、おばけ、みんな、脅かす。
 15B: そして、そのためには一週間持たないと思う。
 16A: たしかに。
 17B: 一週間じゃ準備できないと思う。
 18A: そうか。
 19A: じゃ、ハロウィーンのホテル・ヴァージョンのカフェは？
 20B: うーん、ちょっとわかりづらいかもしれない。
 21A: じゃあ、じゃ、ハロウィーン、31日はハロウィーンで
 22B: うん
 23A: でも、30日はおばけ屋敷。
 24B: でも、そうしたら準備はいろいろ大変だと思うよ。
 25A: ええ、じゃ、ハロウィーンをやるとして、ハロウィーンで出し物は何にする？
 26B: 出し物はやっぱりハロウィーンだから、かぼちゃがいいと思う。
 27A: かぼちゃ？
 28A: Only? だけ？
 29B: まあ、おばけも出してきてもいいけど。
 30B: うーん、暗い感じのイメージがいいと思うな。
 31A: 暗い感じのイメージ？
 32B: うん。
 33A: 何を出す？
 34A: ハロウィーンで、おかしを出す？
 35B: うん、お菓子がいいと思う。
 36A: なるほど。
 37B: で、パーティーみたいな感じがいいと思う。
 38A: パーティー？
 39A: おばけとパーティー？
 40B: そう。仮装パーティー。
 41A: 仮装パーティー？

- 42B: パーティーがいいと思う。
 43A: 私、ドンキホーテでハロウィーンのキャンディをみつけた。
 44B: 本当に？
 45A: はい。730円。
 46B: 何個入ってる？
 47A: けっこう入ってる。けっこうボックスにいっぱいキャンディが入ってる。
 48A: それを出せばいいと思う。
 49A: ハロウィーンにちなんで、トリック・オア・トリート。
 50B: いいね。それね。
 51B: うん、あと何がいいだろう？
 52A: あと あと、いすを並べる？
 53B: いや、でも私はパーティー風がいいと思う。
 54B: パーティー風のほうが・・
 55A: 立ち食い。立ち食い？
 56B: 立ち食い、そうみたいな。
 57B: 机とかなくてもいいと思う。
 58A: じゃ、立ち食い。
 59B: 立ち食いで音楽とか流して。
 60A: あー。
 61B: やったら、雰囲気がいいじゃないかなあ
 62A: あ、でも、でも、でも、あのう、立ってたら疲れちゃうから、長くいてくれないかもしれない。
 63B: じゃあ、はじっこにいすを置いてみたら、どうかなあ。
 64A: それもいい案だと思う。
 65B: じゃあ、そういうことにしよう。
 66A: そういうことにしよう。

ตัวอย่าง JC11 บทสนทนาระหว่างผู้หญิงสองคนที่เป็นเพื่อนไม่สนิทกัน สนทนาเรื่องการหาร้าน

สังสรรค์

- 1A: 国際交流で打ち上げをしようしよう頼まれたんだけど。
 2A: お店はどこがいい？
 3B: 私は、お酒は飲まないから、お酒を飲まない人でも楽しめるような場所があれば、そこがいいと思う。
 4B: どう？
 5A: 私は、みんなでお酒を飲んで、わいわいできる場所に行きたい。
 6B: うん、じゃ、みんなでお酒を持ち込んで、なんか場所、カラオケとか行つて、
 7A: でも、やっぱりカラオケは時間、時間が決まってて、時間ごとにお金がかかるから、
 8A: 飲み屋さんのほうがいいと思う。
 9A: いいかな。
 10B: どこかいいとかあるかなあ。
 11B: そうか。居酒屋 居酒屋だったら渋谷、駅周辺のほうがいいかなあ。
 12A: でも、国際交流部の部員がみんな渋谷行くとはいかざらないから。(笑い)
 13A: やっぱり学校の周辺がいいかな。

- 14B: 学校の周辺？
 15B: 学校の周辺か。
 16B: 表参道の人がいるしね。
 17A: うん、だったらー、学校の近くを探した方がいいと思う。
 18B: どうやって探す？ 本とか 本で探す？
 19B: あ、でも、インターネットの中で探してもいいんじゃない？
 20A: じゃ、私は本で探すから、インターネットで探して。
 21B: わかった。
 22B: じゃあ、がんばるからね。
 23A: じゃあ、またね。
 24B: またね。バイバイ。

ตัวอย่าง JC 12 บทสนทนาระหว่างผู้หญิงสองคนที่เป็นเพื่อนไม่สนิทกัน สนทนาเรื่องการหาของที่ระลึกให้อาจารย์ที่จะเกษียณ

- 1A: 何買う？
 2B: 何がいいんかね。
 3B: もし買うんだったら、男の先生、男の先生がやめるの？
 4A: うん。
 5B: 男の先生って難しいね。
 6B: でも、もし別れるんだったらさ。
 7A: でも、「別れる」と言ったら、ハンカチだから、ハンカチを買う。
 8B: でも、男の人ってあんまりハンカチとか使わくない？授業中とか。
 9A: 先生ってさあ、油が出るから。
 10A: たまにこう冷や汗をふく時に必要。
 11A: あ、でも、先生をもう辞めちゃうからね。
 12A: 男の先生なら、何がいいんだろうな。
 13B: うーん、必要なもの。
 14A: ペンとか、万年筆とか、
 15A: 万年筆。
 16B: でも、あの先生いっぱい持ってるよ。
 17A: そうかー。
 18A: 何だろう。
 19B: でもさあ、ハンカチだと、やっぱ定番すぎるような気も。
 20B: 女の先生だと、「ハンカチ」っていいそうだし、
 21A: でも、きっと日本では別れる時は、ハンカチって決まっているんだよ。
 22A: 別れの贈り物としてはハンカチだから。
 23B: あー、だからか。
 24B: 確かに男の先生に、別れる時に何を買うかって言えば、ちょっと難しいよね。
 25B: さっき考えたのは、この学校の名前か、生徒の名前を入れた湯飲み。
 26A: 湯飲みね。
 27B: 思い出に。
 28A: あー、そういうことか。
 29B: それか、花束とか。
 30A: 花束？

- 31A: あ、プレゼントだからいいんか。花束とかも、あー、そうだね。湯飲みとかもいいかもね。
- 32B: うん、でも、どっちがいいんだろうね。湯飲みとハンカチと。
- 33A: 先生めがね使うから、使うとして、めがねケースは？
- 34B: あー、めがねケースか。
- 35B: それもいいね。
- 36B: で、今候補が2つあって、でも、もしあげるんだったら、コップかめがねケースがいいかと思うんだけど。
- 37B: それだったら、ハンカチもいいかなって。
- 38A: 靴下は？
- 39B: 靴下？
- 40B: 穴開いたら、終わっちゃうじゃん。あー、もうだめだみたいな。
- 41A: でも、先生穴開き靴下多いかもしれないから、何足かあげとくこれから先役立つかな。
- 42B: ま、確かにそれはあるけど。
- 43B: 靴下でしょ？ゴムとかのぴたら、絶対さあ、なんかボロボロだよ。
- 44A: そうだね。
- 45A: 臭くなつて終わっちゃたら、なんかかわいそうかな。
- 46B: 先生もさあ、これみなさんからもらったけど、ボロボロになっちゃった。いらない。ポイってみたいな。
- 47A: それ、ショックだね。
- 48B: だから、残るものもいいよね。
- 49A: 残るものもいいから、やっぱ花は。。
- 50B: そうだね。
- 51B: 花はちょっとさみしいよね。
- 52A: となると、めがねケースか、あれか、コップか。
- 53B: うん。
- 54A: あれは？アルバムとかは？
- 55A: 何か先生と、みんなの写真で、なんか思い出とかをアルバムに作って、これは先生との思い出です、みたいなの。
- 56B: あー、作ってあげたいところだけど、
- 57B: 先生とそんなに写真撮ってないから。
- 58A: いいよ。今から先生と写真撮っちゃえば、
- 59B: 先生あんまり撮らないから。
- 60A: だからか。
- 61A: それか、写真はクラスの集合写真を一枚真ん中に置いて、その周りにみんなからのメッセージを書いて、
- 62B: 色紙？
- 63B: ああ、それいいね。それなら、けっこう。
- 64A: いっぱく作れるかな？
- 65B: うん、十分かな。こんなこともあったよな、みたいなの。けっこう色紙って捨てないよね。
- 66A: だよな。
- 67B: あんまり捨てるとこ見たことないけど。
- 68B: 最後だから、もっと思い出に残るものあげたいよね、もう退職だから。
- 69A: そうだよな。
- 70B: じゃあ、めがねケースと色紙でいいんじゃない？
- 71A: かな？

- 72B: コップとなると、けっこう時間とかお金も結構かかるじゃん。特注だから。
73A: 特注だね。
74B: だから、その方がいいのかな。だから、コップだから、あ、そっかコップじゃないか。色紙にして、その色紙プラスめがねケース。
75A: あ、そうだね。
76B: でも、やっぱめがねケースだと、全然かわいくないから、やっぱコップの方がいいよ。
77A: あー、コップは、そのクラスの子の名前を全部くるくるくるくる書いて、で、店に頼んで、プリントしてもらおう。無理かなあ。
78B: あー。でも、予算どれぐらいにしようかな。みんなから集めても、
79A: まあ、予算を、
80A: 一人 200 円ぐらい。
81B: 30 人いて、じゃあ、6000 円。
82B: 6000 円だね。6000 円でコップ作れる？
83A: コップと色紙を買えば、
84A: みんな出してくれるかね、お金。
85B: 100 円か 200 円くらいなら、出してくれるんじゃない？
86B: 出すよ。きっと。
87A: それで、もっと豪華にしてもいいけどね。500 円とか。
88B: あー、500 円だったら、まあ、みんなもねー。いいかなって思ったりもするけどね。どうだろうね。
89A: そうだね。500 円か。出してくれないっていう人もいるだろうね。高いなっていう人もいるかもしれないよね。
90B: うん。
91A: そうすると、コップを、コップでいいのかな。コップは確かに割らない限りずっと使えるし、あと、なんか買えそうで、使えそうなもので思い出に残るものは、どういうもんかね。
92B: うーん。
93A: でも、両方十分飾れるし。
94B: うん。
95A: あ、色紙は飾れるものだし。
96B: あと、コップはずっと残るものだからいいんじゃないかな。
97A: あー。どうだろう。いいかな、それで。
98B: きっと、コップの方がずっとこの子達とやってきたんだな、という感じでずっとメガネケースとかよりは思い出深い、世界で一つだけみたいな感じで。
99A: いいね。
100B: ね。いいんじゃないかと思うけど。
101A: そうだね。
102B: みんなからメッセージいっぱい書いてもらえばいいかな。
103A: そうだよな。
104B: 先生に思い出に、先生との思い出をこう。
105A: いっぱい語って、
106A: 先生を盛り上げてみたいな（笑い）
107B: 「ありがとう」みたいなの。
108A: 「ありがとう先生」みたいなの。
109B: じゃあ、それにするか。
110A: うん、それにしよう。